

Guitar Amplifiers
MINI JUBILEE™
2525H & 2525C



OWNER'S MANUAL

Marshall

はじめに

JCM25/50 Silver Jubilee Seriesは、Marshall Amplificationの創立25周年とジム・マーシャルの音楽ビジネスにおける50年のキャリアを祝して1987年に発表された製品です。評価の高いこのシリーズにインスパイアされたモデル、2525C「1 x 12”コンボ」と2525H「スモール・ボックス」ヘッドは、Silver Jubileeのプリアンプ機能と低出力の「ミニ」デザインのスタイリングを融合させたモデルです。

20ワット2525 Mini Jubileeは、入念に作り上げられた工芸品であり、イギリスはブレッチリーのMarshallの工場で最高の水準の規格に従い設計、企画され、そして組み立てられています。オリジナルJubileeシリーズと同様に、20ワット2525 Mini Jubileeが搭載している機能は：ベース、ミドル、トレブルのトーン・コントロール、プレゼンス、アウトプット・マスター（フットスイッチ/プル・チャンネル）、リード・マスター、インプット・ゲイン（プル・リズム・クリップ）等のコントロールに加え、ECC83（12AX7）とEL34の真空管のコンビとなります。2525Cは、12” Celestion G12M-25 Greenbackスピーカーを搭載しています。

このコンテンツポラリーなJubileeシリーズ、「mini」はハイ/ローの出力切り替え（20ワットから5ワット）と独立した4/8/16オームのスピーカー・アウトプットを装備しています。

お手元のMini Jubileeがどのような演奏状況でも不可欠な存在となり、いつまでも伝説のSilver Jubileeトーンをあなたにお届けすることを祈っています。

マーシャル製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ザ・マーシャルチーム

警告！安全にご使用いただくために

警告：

次に進む前に、ご使用のアンプが主電源と互換性があることを確認してください。ご不明な点は、有資格技術者にお問い合わせください。最寄りのマーシャルディーラーがお手伝いいたします。

主電源入力とヒューズ：

ご使用のアンプの製造仕様の電源入力電圧定格は、アンプのリアパネルに示されています。

アンプには、脱着式の電源ケーブルが付属しています。この電源ケーブルは、アンプのリアパネルにある主電源入力ソケットに接続してください。

電源ヒューズの規定値とタイプは、アンプのリアパネルに表示されています。

ヒューズは決して迂回して接続しないでください。また、不正な値やタイプのヒューズは使用しないでください。

機材の持ち運び：

持ち運ぶ前にアンプのスイッチを切り、電源からプラグを抜き、着脱可能なケーブルをすべて機材から外したことを確認してください。

重要なセットアップ情報：

1. 2525Hまたは2525Cをエクステンション・スピーカー・キャビネットと併用する時は、アンプのリアパネルの正しいインピーダンスのラウドスピーカー・ジャックに接続してください。インピーダンス・マッチング（「リアパネルの機能」の17）に関する具体的な情報については本マニュアルのラウドスピーカー・ガイドを参照してください。

警告：以上の指示に従わない場合、アンプを損傷させるおそれがあります。スピーカー・キャビネットは必ずスピーカー用のケーブルで接続し、ギター用のシールド・ケーブルは絶対に使用しないでください。

2. 電源スイッチがOFFになっていることを確認してください（「フロントパネルの機能」の11）。

3. 最初にリアパネルのMAINS INPUTに電源ケーブルを接続し、次にソケットを壁面のコンセントに接続します。

4. フロントパネルのボリューム・コントロールがゼロになっていることを確認してください。

5. フロントパネルのインプット・ジャックにギター・ケーブルのプラグを差し込みます。

6. アウトプット・スイッチがスタンバイ・ポジションになっていることを確認してください。

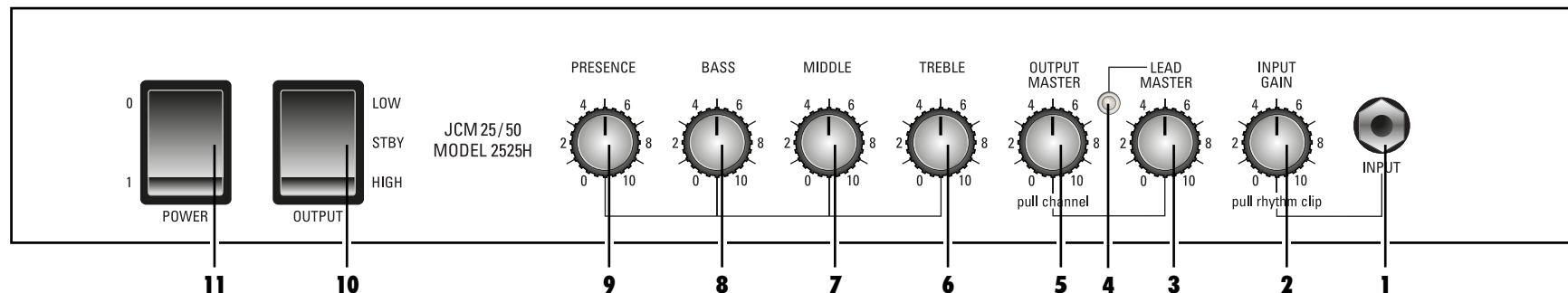
7. フロントパネルの電源スイッチをONにし、2～3分待ってから8.に進みます。

8. ハイ・アウトプットまたはロー・アウトプット（「フロントパネルの機能」の10）を選択してアンプを起動します。

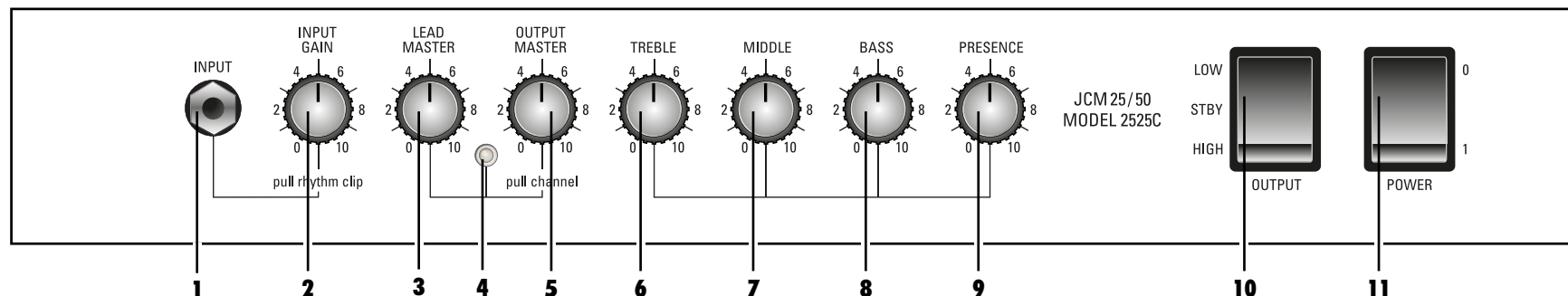
9. 希望の音量レベルまで上げればアンプの動作準備は完了です。

フロントパネルの機能

2525 MINI JUBILEE - ヘッド



2525 MINI JUBILEE - コンボ



1. インプット

このジャックにギターを接続します。ノイズを軽減するためにも高品質のギター用シールド・ケーブルを使用してください。

2. インプット・ゲイン

インプット・ゲインは入力回路の感度を調節します。リズムクリップ・モードとリード・チャンネルのクリーン/クランチのレベルを制御します。プル・スイッチで、リズムクリップ・モードが起動し、よりヘヴィでドライブするトーンが得られます。

備考:リズムクリップ・モードを選択したときにボリュームが明らかに低くなる場合は、アウトプット・マスター(「フロントパネルの機能」の5)のレベルを上げることによって解決できます。

3. リード・マスター

リード・チャンネルがアクティブなとき(「フロントパネルの機能」の5)、リード・マスター・コントロールでリード・チャンネルのアウトプット・レベルを調節します。

4. リード・チャンネル

リード・チャンネルが選択されるとLEDインジケータが赤く点灯します。

5. アウトプット・マスター/リード・チャンネル
アウトプット・マスターは、プリアンプ・セクションからパワー・ステージへ渡す段階の出力を調節します。

リード・チャンネルは、フットスイッチ(付属)で選択します。チャンネルはアウトプット・マスタ

ーコントロールのプッシュ/プルでも切り替えることができます。

リード・チャンネルのゲインの量は、インプット・ゲイン・コントロール(「フロントパネル機能」の2)で調節できます。

6. トレブル

サウンドの高域を調節します。

7. ミドル

サウンドの中域を調節します。高く設定すると厚みのあるサウンドになります。低い設定では「中域がすくい取られたような」サウンドになり、トレブルとベースが強調されます。

8. ベース

サウンドの低域を調節します。

9. プレゼンス

プレゼンスはベース、ミドル、トレブルの各コントロールとは別に、パワー・アンプ・ステージで働く「ブライトネス」を調節する機能です。

10. アウトプット

スタンバイとハイ/ローの出力の選択機能を組み合わせた3ポジションのロッカー・スイッチです。

フロントパネルの機能(続き)

10. アウトプット(つづき)

ハイ:20ワットの出力設定です。

スタンバイ:主電源スイッチ(「フロントパネル機能」の11)と組み合わせて使用前のアンプの「ウォームアップ」や、パワー管の寿命延長のために使用します。アンプの電源を入れると常に最初に主電源がONになります。スタンバイ・ポジションのアウトプット・スイッチは「スタンバイ」の状態のままです。

これにより真空管が適切な動作温度にあたたまるまで電圧がかけられます。約2分後、真空管は正しい動作温度に達し、アンプが駆動できるようになります。

真空管の寿命を延ばすために、演奏を中断する時はスタンバイ・スイッチのみでアンプのオンとオフを切り替えてください。

ロー:5ワットの出力設定です。設定したトーンのフィーリングを保ったままボリュームを下げるすることができます。

11. 電源

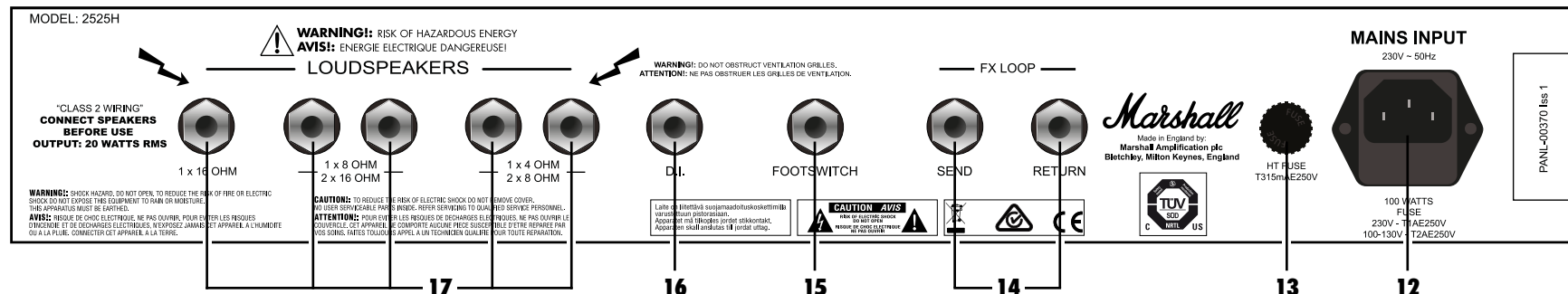
アンプの電源のON/OFFスイッチです。電源スイッチをONにするとスイッチが赤く点灯します。

警告:アンプを移動する時は、必ず事前に電源スイッチを切り、コンセントからソケットを抜いてください。

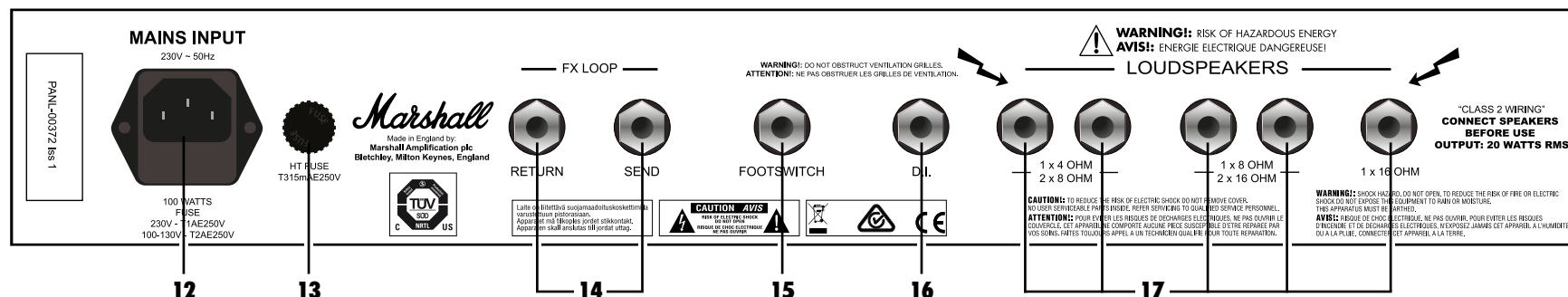
備考

リアパネル機能

2525 MINI JUBILEE - ヘッド



2525 MINI JUBILEE - コンボ



12. 主電源入力

アンプに電源を接続します。

備考:電源入力ソケットにはヒューズ・ボックスが付いています。ヒューズを交換する時はリアパネルに記してある値のヒューズを使用してください。ヒューズ・ボックスを開ける時は必ず電源スイッチを切り、電源ケーブルをはずしてください。よく分からない場合は マーシャルの輸入販売業者に問い合わせてください。

13. HTヒューズ

リアパネルにマウントされているこのヒューズ・ホルダーを開けてHTヒューズを交換します。HTヒューズは必要に応じて切れることにより内部回路を保護します。この症状はパワー管に異常があった場合に時折発生します。

備考:ヒューズは必ずリアパネルに記載された値のものと交換してください。ヒューズを交換する時は、必ず事前にアンプの電源を切り、

電源ケーブルをアンプからはずしてください。よく分からない場合はマーシャルの輸入販売業者に問い合わせてください。

14. FXループ

このFXループで外部のエフェクターをシリーズで接続することができます(公称レベル:-10dBV)。SENDから外部エフェクターのインプットに接続し、外部エフェクターのアウトプットから本機のRETURNに接続します。

備考:SENDから外部パワー・アンプに接続することも可能です。ただし、アンプにスピーカーを接続しなくてよい訳ではありません。「リアパネルの機能」の17の「警告」を参照してください。外部のプリアンプをRETURNに接続することも可能です。

15. フットスイッチ

チャンネルフットスイッチを接続します

(PEDL-90003、同梱)。

16. D.I.

周波数帯調整後の信号をスレーブ・アンプまたはミキサー卓に直接送るためのジャックです。

備考:D.I.を使用する場合でもスピーカーを接続しなくてはなりません。「リアパネルの機能」の17の警告を参照してください。

17. スピーカー

5つのスピーカー・アウトプットを使用することができます。それぞれのジャックにはインピーダンスの値が記されていますので必要に応じて使い分けてください。

- 16Ω:16オームのスピーカー・キャビネットは、このジャックに接続します。
- 8Ω:単一の8オームのスピーカー・キャビネット、または16オームのキャビネット2台を接

続します。
 • 4Ω:単一の4オームのスピーカー・キャビネット、または8オームのキャビネット2台を接続します。

警告 - アンプにはスピーカー・アウトプットが5つありますが、定格数を超えるスピーカーは決して接続しないでください。安全な接続の組み合わせは、次の通りです。1x16オーム、1 x 8オーム、1 x 4オーム、2 x16オーム、または2 x 8オーム。これ以外のスピーカー構成は、パワー・アンプセクションに負担をかけ、場合によっては真空管や出力トランスを破損する可能性があります。また、2555を使用する際には必ずスピーカーを接続してください。

MARSHALLAMPS.COM



Marshall Amplification Plc, Denbigh Road,
Bletchley, Milton Keynes, MK1 1DQ, England.
Telephone: +44 (0) 1908 375411 | Fax: +44 (0) 1908 376118
Registered in England. Registered Number: 805676

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to our policy of constant improvement and development, Marshall Amplification Plc reserves the right to alter specifications without prior notice.

BOOK-00149-00